

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-24	高等学校	商業	財務会計Ⅱ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
230 ネット	商業 744	新 使える財務会計Ⅱ		

1. 編修の基本方針

幅広い知識と教養の一環として財務会計Ⅱを学習するにあたり、平易な文章表現と多くの例により、学習者がより早く理解と習熟が進むように工夫した。また、職業及び生活との関連を重視し勤労を重んずる態度、そして国際社会の発展に寄与する態度を養うという教育の目標に資することを念頭に説明するように努めた。

2. 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Chapter 1 財務会計と会計基準	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う目標にむけ、財務会計の導入的内容について、わかりやすく説明した。(第一号)	2～16 ページ
Chapter 2 資産の評価 Section 1 資産の評価基準	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う目標にむけ、資産の各評価基準について、イラストを用いて、わかりやすく説明した。(第一号)	19 ～22 ページ
Chapter 5 固定資産 Section 6 減損会計	個人の能力を伸ばし、創造性を培う目標にむけ、固定資産の減損会計について、その全体像(フローチャート)を示し、さらなる研究を促すようにした。(第二号)	87 ～92 ページ
Chapter 7 負債会計 Section 2 退職給付会計	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う目標にむけ、退職給付会計について、単に計算過程を示すだけでなく、計算内容を図解し、わかりやすく説明した。(第一号)	109 ～117 ページ
Chapter 7 負債会計 Section 3 社債	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う目標にむけ、社債における償却原価法の適用について、単に計算過程を示すだけでなく、計算内容を図解し、わかりやすく説明した。(第一号)	118 ～122 ページ
Chapter 8 リース会計	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う目標にむけ、リース会計における利息法の適用について、単に計算過程を示すだけでなく、計算内容を図解し、わかりやすく説明した。(第一号)	128 ～136 ページ
Chapter 9 外貨換算会計 Section 2 外貨建有価証券の評価	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う目標にむけ、外貨建有価証券の評価について、単に計算過程を示すだけでなく、計算内容を図解し、わかりやすく説明した。(第一号)	144 ～148 ページ
Chapter 11 純資産会計 Section 2 剰余金の配当	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う目標にむけ、剰余金の配当について、一連の流れを示しつつ、わかりやすく説明した。(第一号)	172 ～177 ページ
Chapter 13 連結会計	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う目標にむけ、連結会計の基本的事項の確認を踏まえたうえで、支配獲得後の子会社株式の追加取得や一部売却という応用的事項を扱うことでより効果的な学習となるようにした。(第一号)	196 ～234 ページ

Chapter14 持分法	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う目標にむけ、持分法における計算内容について、単に計算過程を示すだけでなく、計算内容を図解し、わかりやすく説明した。(第一号)	236 ～244 ページ
Chapter16 キャッシュ・フロー計算書	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う目標にむけ、キャッシュ・フロー計算書について、詳細かつ具体的な例と説明を通じて、その本質が理解できるように工夫した。(第一号)	254 ～272 ページ

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させるという高等学校教育の一つの目標にむけ、学習者が財務会計Ⅱの内容を理解し、財務会計へのさらなる興味が喚起されるよう、理解できる、よって意欲的に学習できる教科書たることを念頭に執筆した。

また、今後も進展が予想される経済のグローバル化を見据え、基本的な会計用語には英語表記も併記するとともに、創造性や身近な企業・生活との関連性を培えるよう、考察や討論のテーマやきっかけを与える「Let's think」及び「Let's have a discussion」という項目を適宜掲載した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-24	高等学校	商業	財務会計Ⅱ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
230 ネット	商業 744	新 使える財務会計Ⅱ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ① 各取引の場面の設定を行った。
各 Section の冒頭に「はじめに」を設け、そこで場面を設定した。
- ② 会計処理の背景と理由を付した。
会計処理について暗記に終始することがないように、会計処理の背景と理由を付した。
- ③ 図とイラストを多用した。
図とイラストを多く入れることで、複雑な取引についてイメージをできるようにした。
- ④ 2色刷りにした。
問題として解くべき箇所と重要な箇所について見やすくするために、2色刷りにした。
- ⑤ 文体を「ですます調」にした。
馴染みのない取引について親しみやすく、また読みやすくするために文体を「ですます調」にした。
- ⑥ 側注を付した。
本文の内容を補足する知識を側注に入れることにより、さらに理解を深めるようにした。また、計算式も主に側注に置くことにより本文を読みやすくした。
- ⑦ 正誤問題を付した。
計算だけでなく、理論についても理解を深めるために、必要に応じて正誤問題を付した。
- ⑧ 確認問題を収載した。
各 Section 末に、例題 (Try it) を設け、内容の理解度を問題で確認できるようにし、解答と解説を巻末に収載することにより答えを見ずに問題が解けるように配慮した。
- ⑨ 考察や討論のテーマを掲載した。
本書で学ぶ管理会計の技術や手法を通じて、会計情報の活用方法を考察または討論するためのテーマとして、「Let's think」及び「Let's have a discussion」という項目を掲載した。
- ⑩ 重要用語について英語も併記した
ビジネスのグローバル化を見据え、重要な会計用語については英語による表記も併記した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
Chapter 1 財務会計と会計基準 1 財務会計ってなに？ 2 損益計算書の構造 3 貸借対照表の構造 4 収益費用アプローチと資産負債アプローチ 5 会計基準の国際的統合	(1) ア 財務諸表の作成と表示の考え方 (1) ア 財務諸表の作成と表示の考え方 (1) ア 財務諸表の作成と表示の考え方 (1) イ 資産負債アプローチと収益費用アプローチ (1) ウ 会計基準の国際的統合	2～3 ページ 4～6 ページ 7～9 ページ 10～12 ページ 13～16 ページ	3
Chapter 2 資産の評価 1 資産の評価基準 2 金銭債権と貸倒引当金	(2) ア 金融商品 (2) ア 金融商品	18～22 ページ 23～28 ページ	3
Chapter 3 特殊商品売買・建設業会計 1 特殊商品売買 2 期末棚卸資産 (商品) の評価 3 建設業会計	(2) イ 収益と費用 (2) イ 収益と費用 (2) イ 収益と費用	30～38 ページ 39～43 ページ 44～48 ページ	3
Chapter 4 有価証券 1 有価証券の分類・表示 2 売買目的有価証券	(2) ア 金融商品 (2) ア 金融商品	50～52 ページ 53～57 ページ	4

3 その他有価証券	(2) ア	金融商品	58～60 ページ	
4 満期保有目的債券	(2) ア	金融商品	61～66 ページ	
Chapter 5 固定資産				
1 固定資産の種類と処理	(2) ウ	有形固定資産と無形固定資産	68～71 ページ	
2 取得原価の決定	(2) ウ	有形固定資産と無形固定資産	72～76 ページ	
3 割賦購入	(2) ウ	有形固定資産と無形固定資産	77 ページ	
4 減価償却(定率法・生産高比例法)	(2) ウ	有形固定資産と無形固定資産	78～82 ページ	
5 圧縮記帳	(2) ウ	有形固定資産と無形固定資産	83～86 ページ	
6 減損会計	(2) ウ	有形固定資産と無形固定資産	87～92 ページ	5
Chapter 6 無形固定資産・投資その他の資産				
1 無形固定資産	(2) ウ	有形固定資産と無形固定資産	94～100 ページ	
2 投資その他の資産	(2) ウ	有形固定資産と無形固定資産	101～102 ページ	2
Chapter 7 負債会計				
1 負債と引当金	(2) エ	固定負債	104～108 ページ	
2 退職給付会計	(2) エ	固定負債	109～117 ページ	
3 社債	(2) エ	固定負債	118～122 ページ	
4 資産除去債務	(2) エ	固定負債	123～126 ページ	4
Chapter 8 リース会計				
1 リース会計	(2) ウ	有形固定資産と無形固定資産	128～136 ページ	2
Chapter 9 外貨換算会計				
1 外貨建取引	(2) ア	金融商品	138～143 ページ	
2 外貨建有価証券の評価	(2) ア	金融商品	144～148 ページ	
3 為替予約	(2) ア	金融商品	149～152 ページ	4
Chapter10 デリバティブ				
1 デリバティブ	(2) ア	金融商品	154～160 ページ	1
Chapter11 純資産会計				
1 純資産会計の基礎知識	(2) オ	純資産	162～171 ページ	
2 剰余金の配当	(2) オ	純資産	172～177 ページ	
3 分配可能額の計算	(2) オ	純資産	178～180 ページ	
4 新株予約権とストック・オプション	(2) オ	純資産	181～188 ページ	6
Chapter12 企業結合				
1 会社の合併・買収	(4) ア	企業結合の形態	190～194 ページ	1
Chapter13 連結会計				
1 連結会計の本質	(4) ウ	連結財務諸表の作成	196～200 ページ	
2 連結初年度の財務諸表の作成	(4) ウ	連結財務諸表の作成	201～207 ページ	
3 支配獲得後の連結	(4) ウ	連結財務諸表の作成	208～211 ページ	
4 親会社・子会社の取引	(4) ウ	連結財務諸表の作成	212～218 ページ	
5 段階取得の処理	(4) ウ	連結財務諸表の作成	219～221 ページ	
6 追加取得と一部売却の処理	(4) ウ	連結財務諸表の作成	222～234 ページ	10
Chapter14 持分法				
1 持分法の基礎知識	(4) イ	連結財務諸表の作成	236～237 ページ	
2 持分法の処理	(4) イ	連結財務諸表の作成	238～244 ページ	4
Chapter15 在外支店				
1 在外支店の財務諸表項目の換算	(2) ア	金融商品	246～252 ページ	3
Chapter16 キャッシュ・フロー計算書				
1 キャッシュ・フロー計算書の基礎知識	(3) ア	資金繰りの重要性	254～255 ページ	
2 営業活動によるキャッシュ・フロー	(3) イ	キャッシュ・フローに関する財務諸表の作成	256～265 ページ	
3 投資活動・財務活動によるキャッシュ・フロー	(3) イ	キャッシュ・フローに関する財務諸表の作成	266～272 ページ	7
Chapter17 税効果会計				
1 税効果会計	(2) カ	税効果会計	274～282 ページ	
2 連結上の税効果会計	(2) カ	税効果会計	283～290 ページ	3
Chapter18 財務諸表の活用				
1 有価証券報告書と連結財務諸表の活用	(5) イ	連結財務諸表分析	292～304 ページ	
2 企業価値の評価	(5) ア	企業価値の評価	305～308 ページ	
3 財務諸表分析と株価	(5) ウ	株主関連指標	309～312 ページ	3
Chapter19 監査と職業会計人				
1 会計責任と監査制度	(6) ア	会計責任と監査の概要	314～317 ページ	
2 財務諸表監査の考え方と手続き	(6) ア	会計責任と監査の概要	318～322 ページ	
3 職業会計人の職務と社会的役割	(6) イ	職業会計人の職務	323～326 ページ	2
			計	70